

かな半旅館

業種	宿泊・飲食サービス業	事業所所在地	栃木県栃木市	資本金	
				従業員数	5名

 	被承継者（左）		
	志島 三樹	85歳	※承継時
	承継者（右）		
	志島 泰子	47歳	※承継時

事業承継を行った時期		被承継者と承継者の関係	
2018年	1月	子ども	
承継前の主たる事業の内容		承継前の主たる事業の課題	
旅館業		・新商品・新サービスの開発 バス・トイレのない6畳和室3室と歴史風情のある22畳和室（3間続きの1棟1室）の利用が少なく稼働率を高めること、新たな顧客層を開拓する必要があった。	

事業承継を実行するまで		
きっかけは？	承継計画の立案	承継までの不安と準備
承継実行の	2年前	被承継者と承継者で話し合ったこと
商工会議所の事業承継相談会に参加した。	引き継ぐ事柄	特になし
	関係者との調整	承継者の承継に対する不安
	特になし	土地建物が、被承継者の名義であるため、名義変更時の手続き

これに一番苦労した！

会社ではなく個人経営なので事業承継には廃業・開業の手続きが必要のため、開業の保健所・消防に時間がかかりました。

事業承継について相談したこと		
相談機関の業種	承継に関して受けたサポート内容	
商工会・商工会議所	事業承継相談会の参加を促して頂いた。	
いつから相談？		
承継実行の		1年前
相談のきっかけ		以前から取引やつきあいあり


新たな取組の標題

歴史を感じてみよう！当社だから提供できる、“コト”体験の提供

新たな取組の内容	商品の新たな生産又は販売の方式の導入
----------	--------------------

- 近年、訪日外国人の訪日目的が「爆買い」に代表される買い物中心の消費活動から、「日本ならではの体験」を求める「コト消費」に変化してきている。また、観光客の受け入れ先が地域の独自性を売りに地域ならではのプログラムを企画して提供する「着地型観光」が注目されている。
- そこで、外国人環境校を中心に日本文化を体験していただく宿泊事業を推進し、栃木市屈指の歴史を持つ当旅館だからこそ体験できる「江戸体験プラン」サービスの提供を行う。
- 「江戸体験プラン」サービスは、「日本らしさ」「古さ」を持つ22畳和室に宿泊し、夕食には江戸時代に食された料理を再現した「とちぎ江戸料理」を堪能いただく内容で、さらに、絵手紙、書道、写経、舟運、坐禅、焼き物、和菓子づくり、着付けといったオプション体験も用意する。
- そのため、22畳和室がある棟には浴室設備がなく不便だったので、新たに浴室設備工事を行った。
- 今後は、着地型観光ニーズがますます増加する傾向で、旅行者の「コト消費」を刺激するサービスの提供により利益向上を目指す。



地域経済やバリューチェーンへの貢献	補助対象経費の内訳
栃木市内の宿泊施設数に大きな反動はなく低価格を訴求する施設もないため、当社独自の魅力を磨き他社との差別化をはかり続けることで着地型観光の受け皿となり、地域観光の発展に寄与できるものと考えている。	■ 設備費  経費の主な使い道 設備費（浴室他改装工事費）

認定経営革新等支援機関から受けたサポート内容			
<input checked="" type="checkbox"/> 制度内容の理解	<input checked="" type="checkbox"/> 事業計画の立案	<input checked="" type="checkbox"/> 各種提出書類の作成	<input checked="" type="checkbox"/> 補助事業の実施

事業承継より今後のビジョンに合う計画として、導き出した計画に合う制度であるかの説明・提出物作成のアドバイスを頂いたり作成のお手伝いを頂きました。

今後に向けて～次の目標	
2018年から2021年に向けて	歴史的価値ある建物を維持していくための修繕に取り組み、旅館全体の修繕の完了
売上総利益	

これから事業承継に取り組む事業者の方へ	
被承継者からの一言コメント	承継者からの一言コメント
目標をもって頑張ってください。	事業承継出来る基盤があることは、とても恵まれていると思います。今まで描いていた事を形に出来る大きなチャンスです。時代によって求められることへの変化に対応していくアイデアを出しながら、日々進んでいきましょう。